

Fresh Concert ~CMDJ 2025~ ~より豊かな音楽の未来をめざして~



すみだトリフォニーホール 小ホール
2025年4月11日(金)

主催：日本音楽舞踊会議／後援：季刊『音楽の世界』

《 プ ロ グ ラ ム 》

宮嶋 優有 (ソプラノ)

ピアノ：内野 佑弥子

トマ
A. Thomas 歌劇『ハムレット』より オフィーリアの狂乱
Opera< Hamlet>~ “A vos jeux mes amis”

野原 章史 (ピアノ)

グリンカ=バラキレフ 「ひばり」
M. Glinka=M. Balakirev [The Lark]
~ ショパン ポロネーズ第6番「英雄」変イ長調 作品53
F. Chopin Polonaise N°6 [Héroïque] labmajeur Op.53

鯨 日和 (ソプラノ)

ピアノ：加藤 梓

シュトラウス 4つの歌曲 作品36 TrV186より 第1曲 “ばらの絆”
R. Strauss Vier Lieder Op.36 TrV186~ Nr.1 “Das Rosenband”
リスト “ローレライ” S. 273
F. Liszt “Die Loreley” S.273

蝶名林 菜央 (Cl.) / 築山 由菜 (Basset horn) / 石川 ここね (Pf.)

〈クラリネットとバセットホルンとピアノの三重奏〉

メンデルスゾーン 演奏会用小品第2番二短調 作品114
F. Mendelssohn Concertpiece No.2 in D minor, Op. 114

恒吉 季実 (ソプラノ)

ピアノ：藤田 美久

ドニゼッティ 歌劇『アンナ・ボレーナ』より
“あなたたち、泣いてるの？…私が生れたあのお城に連れて行って”
G. Donizetti Opera< Anna Bolena>~ “Piangete voi? ...Al dolce guidami castel natio”

----- 休憩 -----

谷川 絢音 (1st Vn.) / 西山 京花 (2nd Vn.) / 山崎 健一郎 (Viola) <弦楽三重奏>

ドヴォルザーク テルツェット ハ長調作品74より 1, 2, 4 楽章
A. Dvořák Terzetto in C major Op.74~ 1,2,4mov.

鈴木 瑠花 (ソプラノ)

ピアノ：加藤 梓

ドニゼッティ 歌劇『ランメルモールのルチア』より “あたりは沈黙に閉ざされ”
G. Donizetti Opera< Lucia di Lammermoor>~ “Regnava nel silenzio”

惠藤 幸子 (ピアノ)

【友情出演】(2007年度、2010年度出演者)

プロコフィエフ 『ロメオとジュリエット』からの10の小品 作品75 ~抜粋~
S. Prokofiev 10 Pieces from [Romeo and Juliet] Op.75 ~Excerpt~

栗津 惇 (ヴァイオリン)

【友情出演】(2012年度出演者)

栗津惇 (1st Vn) / 青山英里香 (2nd Vn) / 中村響子 (Va) / 中西哲人 (Vc) <弦楽四重奏>

カプースチン 弦楽四重奏曲第1番より 1.4 楽章
N. Kapustin String quartet no.1~ (1.mov. and 4.mov.)

司会：西山 淑子

《ごあいさつ》

Fresh Concert CMDJ は 2003 年に第 1 回を開催し 2019 年の第 17 回までは、東日本大震災など様々な困難を乗り越え毎年休まず開催することができたのですが、世界中に感染を広げた新型コロナの影響は大きく、2020 年～2022 年の 3 年間は中止を余儀なくされました。しかし、2023 年 4 月 12 日に 4 年振りに開催することが出来ましたが、その後は、2024 年と毎年開催され、本年 4 月 11 日（金）の催で記念すべき通算 20 回目の開催となり、Fresh Concert CMDJ は新たな歴史を歩み始めました。

ところで CMDJ は日本音楽舞踊会議の英語名（The **C**onference of **M**usic and **D**ance, Japan =**CMDJ**）の略称で、2006 年まで CMD と称していましたが、2007 年に CMDJ に変更され現在に引き継がれています。

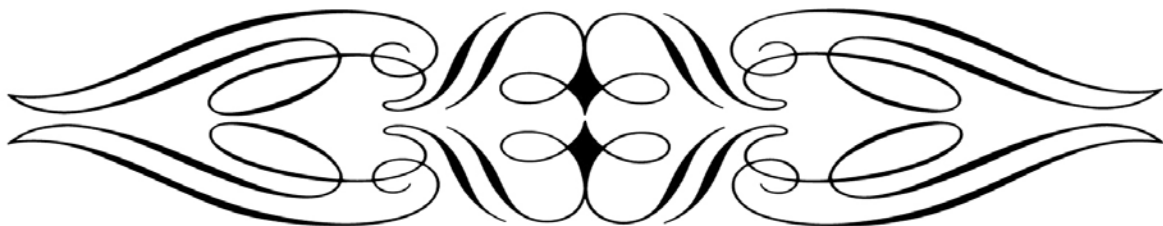
一見豊かそうに見える我が国ですが、現在の我が国の社会、文化環境は、音楽をめざす多くの若者たちにとって、決して恵まれているとは申せません。さらに長引いたコロナ禍がより厳しい状況をつくりだしてしまいました。しかし、そういう状況の下において、若い才能を発掘し、育成につとめることも、創立以来 60 年を越える歴史を重ねて来た当音楽文化団体（CMDJ）として果たすべき社会的、文化的使命の一つと考え、2003 年以来、毎年 3 月下旬～4 月上旬に『Fresh concert CMDJ』を企画し、開催してまいりました。

なお、パソコンやスマホをお持ちの方は、ブラウザで“fresh concert cmdj”のキーワードで検索すると、Fresh Concert CMDJ を詳しく紹介したページ、「Fresh Concert について」に辿りつくとおもいます。

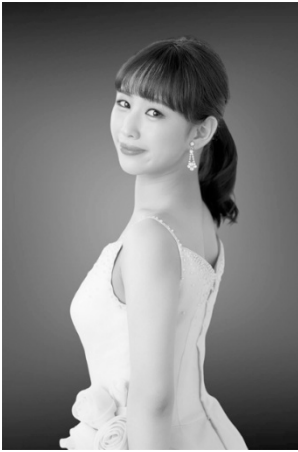
通算 20 回目の開催となる本年は 16 名の参加者に加え、伴奏者 4 名を含めると 19 名の若い音楽家たちがステージを踏みます。今回は、久しぶりに多人数の演奏者によるアンサンブルが 3 団体加わり、多彩で充実したコンサートが期待できると思います。

どうか、若い音楽家たちが情熱を注ぐ演奏に耳を傾け、温かく励ましてあげてください。聴衆の皆様と共に音楽の喜びを分かち合うことができれば、出演者およびスタッフ一同にとって、この上ない喜びであります。

日本音楽舞踊会議	代表理事	深沢亮子
	理事長	北川暁子
	公演局長	北條直彦
コンサート実行委員長 中島洋一		



《演奏者プロフィール》



宮嶋 優有 (みやじま・ゆあり：ソプラノ)

国立音楽大学附属高等学校音楽科を経て、国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修オペラソリスト・コースを今年の3月に卒業。これまでに神林紘一、加納悦子、盛田麻央の各氏に師事。

第101回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会開会式や東村山市市制施行60周年記念式典にて国歌独唱。

国立音楽大学第113回ソロ・室内楽定期演奏にて、学内オーディションを通過し出演。

内野佑弥子 (うちの・ゆみこ)：伴奏ピアノ)

国立音楽大学附属中学、高等学校 音楽科を経て、今年3月に国立音楽大学を卒業。現在は同大学のディプロマコースに在籍。幼少期よりヴァイオリン、ピアノ、エレクトーン、作曲の指導を受ける。現在はソロだけではなく、声楽、管楽器、弦楽器などの伴奏をはじめとし、様々な音楽ジャンルで活動をしている。

これまでにピアノを内藤由里子、岐優子、平塚明子、橋本正子、新納洋介の各氏に師事。



野原 章史 (のほら・あきふみ：ピアノ)

4歳よりピアノを始め現在、米津真浩氏に師事

全日本学生音楽コンクール第72回全国決勝大会入選 ピティナ・ピアノコンペティション全国決勝大会A1級、B級、C級、D級ベスト賞

第7回バッハコンクール全国大会金賞・曲目賞・バーレンライター賞

第2回JPPAピアノコンクール全国大会金賞・大賞 第27回ちば音楽コンクールC部門1位・最優秀賞 第5回ブダペスト国際ピアノマスタークラス (Hungary 国立リスト音楽院) 受講



バーゼル国際ピアノコンクール (Switzerland) C部門2023年入選 (High score winners) 2024年第3位 ニュルンベルク音楽大学 (Germany) 特別レッスン受講、早稲田大学高等学院3年 室内合奏団所属 (2025年4月より早稲田大学1年)



鯨日和(くじら・ひより)：ソプラノ)

愛知県出身。桜丘高等学校音楽科卒業。国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業及び歌曲ソリスト・コースを修了。現在、同大学大学院修士課程音楽研究科歌曲コース1年に大学院奨学生として在学中。同大学第114回ソロ・室内楽定期演奏会出演。第78回全日本学生音楽コンクール東京大会声楽部門大学の部入選。第33回日本ドイツ歌曲コンクール奨励賞。これまでに声楽を吉村純、長島剛子に師事

加藤 梓(かとう あずさ)：伴奏ピアノ)

国立音楽大学附属高等学校卒業時、東京都知事賞受賞。同大学演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)に特別給費奨学生として入学し、ソロ・室内楽定期演奏会や卒業演奏会、新人演奏会等に出演。

第41回ピティナ ピアノコンペティション F 級ベスト賞、第26回ヤングアーティストピアノコンクール E2 部門銀賞(金賞無し)、第29回日本クラシック音楽コンクール室内楽部門第4位。

これまでに吉川あや、菊地珠里、沼田薫、花岡千春、新納洋介の各氏に師事。現在同大学修士課程器楽専攻伴奏コース2年在籍。



〈クラリネットとバセットホルンとピアノの三重奏〉



蝶名林菜央(ちょうなばやし・ななか：クラリネット)

新潟県出身。9歳よりクラリネットを始める。第54回、56回新潟県音楽コンクールにて優秀賞。第19回全日本中学生高校生管打楽器ソロコンテスト関東甲信越支部大会にて審査員賞受賞。第4回Kクラリネットコンクールにて優秀賞受賞。これまでにクラリネットを畑中真理、伊藤圭、エマニュエル・ヌヴェーの各氏に師事。現在、国立音楽大学弦管打楽器ソリスト・コース3年に在学中。

氏に師事。現在、国立音楽大学弦管打楽器ソリスト・コース3年に在学中。

築山 由菜(つきやま・ゆうな：バセットホルン)

長崎県出身。12歳よりクラリネットを始める。第34回ながさき“若い芽”のコンサートオーディションにて優秀賞、ならびにコンサートに出演。第7回K木管楽器コンクールクラリネット部門にて第3位受賞。第51回長崎県新人演奏会オーディションにて優秀賞、ならびにコンサートに出演し、審査員特別賞受賞。ビュッフェ・クランポン・ジャパン主催欧日音楽講座にてフローラン・エオー氏、アレクサンドル・シャボ氏のマスタークラスを受講。これまでにクラリネットを伊藤寛隆、伊藤圭、武田忠善、平瀬裕明の各氏に師事。現在、国立音楽大学弦管打楽器ソリスト・コース3年に特別給費奨学生として在学中。

石川ここね(いしかわ・ここね：ピアノ)

北海道出身。4歳より本格的にピアノを始める。小学6年生からチェロも始める。中学・高校では吹奏楽とHBCジュニアオーケストラでパーカッションを担当。現在までオーケストラ演奏でも舞台上に上がる。現在、国立音楽大学鍵盤楽器専修(ピアノ)4年生として在学中。

令和6年度の国立音楽大学オープンキャンパスにてレッスンモデルを務め、同年12月に学内で行われた佐藤卓史氏の公開レッスンも選抜を経て受講した。

これまでにピアノを紅林ゆりか、進藤郁子に、パーカッションを向愛佳、定成庸司に、チェロを齋藤頼子、三戸正秀の各氏に師事



恒吉 季実(つねよし・きみ：ソプラノ)

国立音楽大学声楽専修卒業、及び歌曲ソリスト・コース首席修了。同大学院修士課程声楽専攻オペラ・コース修了。第21回宮日音楽コンクール声楽部門(高校)最優秀賞、UMK奨励賞。第44回、第45回と2年連続宮崎県高等学校独唱独奏コンクール声楽部門金賞、グランプリ賞。第70回全日本学生音楽コンクール北九州大会声楽部門(高校の部)3位。第71回瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール優良賞。学部在学中に国立音楽大学第108回ソロ・室内楽定期演奏会、卒業時に卒業演奏会、コース修了演奏会に出演。東大和市民会館ハミングホール第253回ロビーコンサート出演。2024年度国立音楽大学大学院オペラ《偽の女庭師》にセルベッタ役として

出演。

これまでに声楽を高橋薫子、長島剛子、澤畑恵美の各氏に師事。

藤田 美久(ふじた・みく：伴奏ピアノ)

国立音楽大学附属中学校・高等学校を経て国立音楽大学卒業、併せてアンサンブル・ピアノコースを首席修了。同大学院修士課程修了。第15回ベートン音楽コンクール大学・院生の部第4位、第9回K Pianoコンクール大学・一般の部第3位、第52回フランス音楽コンクールピアノ部門入選他。

これまでにピアノを広瀬百合子、宮下ゆかり、久元祐子の各氏に、伴奏法を平島誠也、河原忠之の各氏に師事。

現在、ピティナ中野歌のステーション公式伴奏者。国立音楽大学ミュージック・アトリエピアノ講師。



谷川 絢音(1st Vn.)／西山 京花(2nd Vn.)／山崎 健一郎(Viola) <弦楽三重奏>



谷川 絢音 ((たにかわ・あやね：1st Vn. 写真左)

県出身。立命館守山高等学校卒業。第14回ベートン音楽コンクール高校生部門第5位。第30回、第31回クラシック音楽コンクール高校生部門全国大会入選。第32回京都フランス音楽アカデミーにてオリヴィエ・シャルリエ氏、室内楽をディアナ・リゲティ氏に師事。調布国際音楽祭など国内外の講習会に参加。長岡京室内アンサンブルに出演。これまでにヴァイオリンを塩澤まり子、竹村美香、青木高志、永峰高志、森悠子、安紀・ソリエールの各氏に師事。室内楽を青木高志、漆原啓子、松井直之の各氏に師事。現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修3年弦管打楽器ソリストコースに特別給費奨学生として在学中。

現在、国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修3年弦管打楽器ソリストコースに特別給費奨学生として在学中。

西山 京花 (にしやま・きょうか：2nd Vn. 写真中)

鳥取県出身。鳥取県立鳥取西高等学校卒業。第30回クラシック音楽コンクール高校生部門全国

大会入選。第17回全日本 芸術コンクール音大生の部第3位受賞。イカール国際ミュージックキャンプに参加。ミハエル・ヴァイマン氏マスター クラスを受講。これまでにヴァイオリンを小倉達夫、小倉由美、湯浅いづみ、永峰高志氏の各氏に師事。室内楽を青木 高志、漆原啓子、松井直之の各氏に師事。現在国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修ヴァイオリン専攻2年次在学中。

山崎 健一郎(やまざき・けんいちろう : Viola 写真右)

島根県出身。島根県立松江北高等学校卒業。第15回プラバ音楽コンクール金賞、第1位。第19回金賞、第2位。これまでにヴァイオリンを辺見康孝、山崎貴子、三浦章宏に、ヴィオラを松井直之の各氏に師事。室内楽を青木高志、漆原啓子、松井直之氏に師事。現在国立音楽大学演奏・創作学科弦管打楽器専修ヴァイオリン専攻3年オーケストラ・プレイヤーコースに在籍中。



鈴木 瑠花 (すずき・ようか : ソプラノ)

愛知県出身。国立音楽大学演奏・創作学科声楽専修卒業。同大学院修士課程声楽専攻オペラコース修了。国立音楽大学大学院オペラ《偽の女庭師》サンドリーナ役で出演。在学中、学内選抜により第132回 Vocal Concert、第110回ソロ・室内楽定期演奏会、2022年度国立音楽大学卒業演奏会に出演。2024年度公益財団法人山田貞夫音楽財団奨学金奨学生。第45回読売中部新人演奏会出演。第89回東京国際新人演奏会オーディション審査員賞受賞。これまでに声楽を大塚都子、中西艶子、岩崎由紀子、岩森美里、澤畑恵美の各氏に師事。

加藤 梓(かとう あずさ) : 伴奏ピアノ)

※伴奏ピアニストの写真と略歴は、4P 冒頭に紹介済み。



恵藤 幸子 (えとう・さちこ : ピアノ) 【友情出演】 (2007年度、2010年度出演者)

桐朋学園大学、同大学院大学と研究科を経て、モスクワ音楽院の研究科を修了。エリソ・ヴィルサラゼ女史に師事。

2012年第14回日本演奏家コンクール第1位、併せてファツィオリ賞

2015年第16回マリア・ユーディナ国際コンクール第1位(ロシア)、第14回モスクワ国際フェスティバルコンクール第1位(ロシア)2016年 第2回スカルラッティ国際ピアノコンクール第3位、併せてスカルラッティのソナタにて最も優れた演奏をした者に贈られる、スカルラッティ賞を受賞(イタリア)

2017年 マドリッド国際音楽コンクール 第1位 (スペイン)

ロシアの人気アーティスト Brinstaar、Aleksey Sulin とのコラボレーション、キルギスにてビシケケ市交響楽団、キルギス国立音楽院交響楽団、イタリアにてバカウ国立ミハイル・ジョラフィルハーモニー交響楽団との共演など、ロシア、イタリアを中心に幅広く演奏活動を行っている。

また、日本人のコメンテーターとしてロシア国営放送テレビにも出演。2019年2月に行われたリサイタルが公益社団法人日本演奏連盟/増山美知子奨励ニューアーティストシリーズに選ばれ、好評を博した。公式サイト <https://sachiko-sato.com/>



栗津 惇 (あわづ・まこと : ヴァイオリン)
【友情出演】 (2012 年度出演者)

桐朋学園大学卒業、同研究科修了。

ヴァイオリンを小森谷巧、篠崎功子、室内楽を豊田弓乃、藤井一興、東京クアルテットの各氏に師事。皇居・桜華楽堂にて上皇、天皇両陛下の御前演奏。『ファントム』『ラブネバーダイ』『三銃士』『ラカージュ・オ・フォーール』『生きる』『ピーターパン』『CROSS ROAD～悪魔のヴァイオリニスト パガニーニ～』などのミュージカルや宝塚公演などでストリングスリーダーを務める。2024 年にはコレオマニアフィルハーモニーとチャイコフスキー、江東シティオーケストラとメンデルスゾーンの協奏曲を共演。2017～2024 年、東京シティフィルハーモニック管弦楽団 1st ヴァイオリンフォアシュペーラーを務めたのち、2024 年よりアンサンブルロッソ主宰としての活動を開始。

下の写真 = (弦楽四重奏団) : 名称 = アンサンブルロッソ Ensemble ROSSO



栗津 惇 (あわづ・まこと : 1st. Vn. 写真右下)
※略歴は紹介済み

青山 英里香 (あおやま えりか : 2nd Vn. 写真左上)

桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部を卒業、同大学研究科修了。ヴァイオリンを井上淑子、神谷美千子、加藤知子、室内楽を毛利伯郎、藤井一興、徳永二男、東京クアルテットの各氏に師事。現在、ソロ、室内楽、藤原歌劇団オペラ、宝塚歌劇団、東宝ミュージカルなどのミュージカル、由紀さおりなどのコンサートサポート、レコーディング等、演奏活動と共に後進

の指導にもあたっている。G Dream21 レディースオーケストラ 2nd ヴァイオリン首席。桐朋学園大学音楽学部附属 (横浜鎌倉) 子供のための音楽教室実技科講師。

中村 響子 (なかむら・きょうこ : Va. 写真左下)

東京都出身。5 歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部卒業、同大学研究科修了。桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。これまでにヴァイオリンを勅使河原真実、辰巳明子、恵藤久美子の各氏に、室内楽を久保田巧、豊田弓乃、毛利伯郎、正門憲也の各氏に師事。現在はオーケストラ、宝塚歌劇団、ミュージカルなどで演奏する傍ら、NPO 法人「みんなのことば」アーティストとして、音楽ワークショップ・アーティスト「おとみっく」の一員として日本各地の子どもたちへ音楽を届ける活動にも力を注いでいる。ヴァイオリン及びヴィオラ奏者としても活動中。

中西哲人 (なかにし・てつじん : Vc. 写真右上)

京都出身。東京音楽大学附属高校・桐朋学園大学音楽学部を経て桐朋学園大学研究科を終了。チェロを松波恵子氏、木越洋氏に師事。ソロ、室内楽、オーケストラ、ミュージカル等で活動。



《曲目解説 中島 洋一》

①-1 トマ 歌劇『ハムレット』より オフィーリアの狂乱

アンブロワーズ・トマ（1811-1896年）はフランスのオペラ作曲家であり、多くのオペラ作品や室内楽作品を残しているが、現在でも演奏されるのは、代表作の『ミニヨン』と『ハムレット』だけである。

シェイクスピアの原作については、ここで説明するまでもないが、オペラ『ハムレット』では、ハムレットは死なずに、デンマークの新国王になる。かなりご都合主義の台本という気がするが、そういうこともあってか、今日では全曲上演される機会は少なく、このアリアだけが突出して有名で、単独でしばしば演奏される。（※英国上演用の版では、ハムレットは新国王になった後、自ら胸を刺し、オフィーリアの傍らで死ぬ。シェイクスピア原作の悲劇に慣れ親しみ原作者を敬っている国民の心を意識しての変更であろう。

この歌劇中最も有名な“オフィーリアの狂乱”は、第4幕で歌い、演じられる。愛する王子ハムレットに父を誤って殺され、わけあってハムレットからも冷たくされたオフィーリアは、悩んだ末にとうとう発狂してしまう。彼女は川に入水するが、着物の裾が船を浮かべたように広がり、彼女は流されながらも水面に浮かびながら歌い続け、やがて沈んで行く。この戯曲中最も胸をうつシーンであり、ジャン・エバレット・ミレーなどの画家や、他の多くの芸術家達がこのシーンをもとに、美しい芸術作品を残している。

まず、変二長調 8/6 でレチタティーヴォから始まり、バラード（アリア）に入るが、このアリアはワルツ調になったり、ゆったりしたもの悲しい調子になったり、表情もテンポも激しく変化するが、いたましく、そして可憐で、清らかな乙女オフィーリアの狂った悩ましい心情を、コロラトゥーラの技法を駆使して美しく歌い上げている。

②-1 グリンカ=バラキレフ 「ひばり」

この作品はロシア国民楽派の父と讃えられているミハイル・グリンカ（1804-1857）が作曲した歌曲集『ペテルブルクへの別れ』より“ひばり”をもとに、ロシア五人組の一人でそのまとめ役であったミレイ・バラキレフ（1837-1910）がリスト風の華やかなヴィルトゥオーゾ的要素を用いてピアノ曲に編曲した作品である。

序奏から始まり、哀愁のあるシンプルなメロディーに歌曲の伴奏形がつけられ、次第にそのメロディーラインに煌びやかな装飾が施され、展開されて行く。

序奏は、変口短調 4/4 Andante quasi recitativo で、主題の断片と装飾的音型が2小節毎に交互に奏され、13小節目から Andantino となりもの悲しい主題の全容が姿を現す。23小節から華麗で高い技巧を要するパッセージに移り、続いてテーマが変奏をともなって現れる。再び技巧的場っページが続いたあと、テンポが poco meno mosso と緩やかになってテーマが奏され、やがて同主長調の変口長調に移り穏やかに曲を閉じる。憂いをもった旋律と、華麗な雲雀のさえずりが交互に出演する佳品となっている。

※この楽曲の説明文では、音楽用語は原語（イタリア語）のまま表記した。

②-2 ショパン ポロネーズ第6番「英雄」変イ長調 作品53

俗称ピアノの詩人と称されていフレデリック・ショパン（1810 - 1849）は多くのピアノ作品を残しており、ポロネーズについても判明している者だけで15作品を超えている。

しかし、その中にでも「軍隊ポロネーズ」の通称で親しまれている1838年に作曲されたイ長調 作品40-1と、「英雄ポロネーズ」の通称で親しまれている**第6番変イ長調**（1942年作）が、最も演奏される機会が多い。私は、この曲のもつ勇壮な曲想に、祖国の復興を願う作曲者の強い願いが込められているよう気がする。

曲は3/4マエストーソで始まり16小節の華麗な前奏を経て、勇壮な第一主題が変イ長調で奏でられる。複縦線の後、平行短調で第二主題が現れる。再び第一主題が勇壮さを増して現れ、トリオに入る。

トリオではホ長調に転調しアルベジヨの和音で始まり、左手の奏される16分音符のオステナートに乗って、右手でトリオのテーマが奏される。続く部分ではリズムパターンが変わり、第一主題がトリルを伴ってさらに輝かしく再現する。第二主題は省かれ、そのリズム音型のみを引き継ぎコーダに入り曲を閉じる。

③-1 R. シュトラウス 4つの歌曲 作品36 TrV186 より 第1曲 “ばらの絆”

リヒャルト・シュトラウス（1864-1949）ワーグナーの後継であり最後の後期ロマン派の作曲家兼指揮者で、歌劇『サロメ』や歌劇『バラの騎士』などの大作を残していますが、歌曲作品も多く残しており、その多くが現代の音楽家にとっても重要なレパートリーとなっています。

“ばらの絆”1893年～1894年に作曲された「4つの歌曲」第1曲で、“ばらのリボン”という訳もあります。曲はアンダンテ4/4で始まりますが、ピアノが歌で歌われる旋律を優しく奏で、歌のパートがピアノに導かれ、前奏でピアノが弾いた旋律を“春の木陰にぼくは彼女を見つけ、そこで彼女にバラのリボンを結んだ”と歌い出します。後期ロマン派の作曲家の作品らしく、楽想は転調を繰り返しますが、優しく愛に満ちた表情は変わらず、最後までその曲調は貫かれます。歌っても、聴いても、愛に満たされた幸福感に浸れる作品です。なお、ピアノ伴奏だけでなく、オーケストラの伴奏で歌われることもあります。

③-2 リスト “ローレライ” S. 273

フランツ・リスト（1811-1886年）は、旧ハンガリー王国ですが、ドイツやオーストリアなどヨーロッパ各地で活躍し、ピアノ演奏のヴィルトゥオーソとして名を馳せたピアニスト、作曲家だった事はよく知られています。当然多くのピアノ作品を残していますが、ピアノ曲だけでなく交響詩などの管弦楽作品、そしてかなりの数の歌曲作品も残しています。

“ローレライ”は、1856年に古い詩人クロプシュトックの詩に作曲された歌曲ですが、その後ピアノ独奏版も出版され、ピアニストが演奏する機会も少なからずあります。

音楽は3/4 冒頭の楽語はドイツ語で “Nihit schleppend” 邦訳すると「遅過ぎないように」という意味になるのでしょうか。ピアノはいきなり減七の分散和音ではじまります。そして歌っては短調で「なぜだか良くは分からないけれど私はとても悲しい気持ちだ。古い昔の物語が心に深く響いてくる」と歌います。ここから音楽は、魅惑的な歌声で船乗りたちを誘惑しようとするロー

レイと、その歌に惹かれて行く、船乗りたちの情景を表現し続けます。そして最後は「私は信じている、波が飲み込むのだと こうしてついには船乗りと船をそれは彼女の歌の力で、あのローレライがしたことなのだ」と歌って終わります。魅惑的ですが、もの悲しく響く音楽です。

※私は③-1. 2について、文体に常体ではなく、敬体を用いました。

④ 〈クラリネットとバセットホルンとピアノの三重奏〉

メンデルスゾーン 演奏会用小品第2番ニ短調 作品 114

フェーリクス・メンデルスゾーン (1089-1847) は、幼い頃から音楽の才を発揮し、神童の誉れが高かったが、多くの分野で美しく完成度の高い作品を残している

演奏会用小品第2番は、第1番と同じく、1833年に作曲されているが、いずれも第2クラリネット奏者がクラリネットを担当するヴァージョンと、バセットホルンを担当するヴァージョンとがある。今回はバセットホルンのヴァージョンで演奏される。

作品は小品だが3つの楽章で構成されている。第1楽章はニ短調プレストで、力強いユニゾンで始まるが、すぐ三つのパートは対比的に動くようになり、ヘ長調、変ロ長調と転調して行くが、再びニ短調で主題が再現し、力強いユニゾンを奏し、急速なテンポで終える。

第2楽章6/8ハ長調アンダンテは、前楽章の終わりとは対照的にテンポはゆったりとしており、ピアノの和音に導かれ、バセットホルンとクラリネットがそれを追いかけて、バセットホルンの分散和音に乗ってクラリネットが歌を奏でる。ハ長調、ト短調、ニ短調と小刻みに転調するが、やがてクラリネットの歌が再現し、フェルマータで一息ついた後、音はバセットホルン、クラリネットと引き継がれピアノが和音を弾いて、穏やかにこの楽章を終える。

第3楽章2/4 アレグログラチオーソはニ短調で始まるが、すぐこの楽章本来の調へ長調になり、ピアノのスタッカトで奏される伴奏の上をクラリネットが小忙しくソロを奏し、ニ短調になるとバセットホルンがそれを受け継ぐ。調がヘ長調に戻るとクラリネットとバセットホルンが16分音符のユニゾンをレガート奏法で奏でる。ハ長調、ヘ短調と調を巡る中、音楽は次第に勢いを増して行き、ffも現れるが、曲が終わりに近づくと音は弱く遅くなり、アダジオのフェルマータで休止した後、コーダでは超急速なユニゾンの楽想が現れ、ffで断ち切るように曲を終える。

小品ながら、音楽は変化に富んでおり、聴いていて飽きることがない、楽しい作品となっている。

⑤ ドニゼッティ 歌劇『アンナ・ボレーナ』より

“あなたたち、泣いているの?…私が生れたあのお城に連れて行って”

ガエターノ・ドニゼッティ(1797-1848) は、ヴェルディが本格的に活躍を始める19世紀前半において、ロッシーニやベッリーニとともに、イタリアを代表するオペラ作曲家として人気を博した。

1830年に作曲した『アンナ・ボレーナ』は、ドニゼッティのオペラの中でも特に芸術性の高い作品である。題材となった人物はエリザベス一世を生んだ英国の王妃アン・ブーリンである。彼女は姦通罪で、ロンドン塔にて斬首の刑を受けている。その歴史的事件にもとづき、王、王妃とそれを取り巻く男女の愛と権力の確執がもたらす悲劇として仕上げたのがこの作品である。

“あなたがた泣いているの? 以降は、このオペラの終盤、第2幕第3場で錯乱したアンナがロンドン塔の牢獄で歌うアリアで、この場面は狂乱の場としてオペラファンにはよく知られている。ヘ長調4/4のゆったりとしたテンポで始まるが、やがて悲しみの情が込み上げ音楽は転調して行き、歌唱もドラマ

チックに盛り上がる。そして再びへ長調に戻り、2/4 拍子になり伴奏部が奏する旋律をなぞえるように歌われるのが、“私の生まれたあのお城に連れて行って”である。アンナは「私を故郷のお城に導いて！ 若い日の愛を返して！」と幸せだった若き日を懐かしみ、錯乱状態で歌う。やがてアンナは小太鼓の音で正気に戻り、兄や自分に想いを寄せた男に詫び、新王妃誕生の祝砲が鳴り響く中、息を引き取る。

⑥＜弦楽三重奏＞ ドヴォルザーク テルツェット ハ長調作品 74 より 1, 2, 4 楽章

アントニン・ドヴォルザーク（1841 - 1904 年）は後期ロマン派に位置するチェコを代表する作曲である。彼にはアメリカ滞在時に作曲した交響曲第 9 番「新世界より」に代表される 9 つの交響曲や、歌劇『ルサルカ』などの大作を残しているが、弦楽アンサンブル用の作品も「弦楽セレナード」をはじめ、多くの魅力的な傑作を書いている。今回演奏される弦楽三重奏曲は 1887 年 1 月に作曲されているが、楽器編成はヴァイオリン 2、ヴィオラ 1 という比較的珍しい形をとっている。楽曲は 4 楽章構成となっているが、今回は時間の都合で第 3 楽章を省き、1, 2, 4 楽章を演奏する。

ハ長調 4/4 アレフロマントロップで書かれた第 1 楽章は、通常の構成をとらず、三部形式で書かれている。冒頭のテーマは叙情的であるが、やだてエネルギッシュな楽想が少し現れる。そして同主短調となる中間部で、エネルギッシュな楽想が発展する。その後冒頭のテーマに戻るが短く、主調で終止せずホ短調に入りドミナントで終わり、第 2 楽章に接続する。第 1 楽章はこの作品では序奏の役割を担っている。

第 2 楽章は第 1 楽章のホ調のドミナントを受けホ長調で始まる第 2 楽章は 6/8 ララルゲットの緩徐楽章である。ゆったりした動きのなかで美しい弦楽器の和音が奏でられるが、中間部に入ると付点のリズムが多用され楽想が大きく変化する。しかしやがて最初の主題に戻り、ハイポジションで奏されることが多い、弦楽器の高音の和音の魅力を感じさせ、静かに最弱奏でこの楽章を閉じる。

第 3 楽章のスケルツスケルツォは省かれ、第 4 楽章は冒頭にポコメノモツと記されているが、テーマと短い 10 の変奏曲からなる楽章で、セクションにより、テンポと音型は大きく変化する。調性は全体的にハ短調が支配的だが、最後の二つの変奏がモルト アレグロの激しい動きをもち、最後は主調のハ長調で力強く終わる。弦楽器が奏でる美しい和音の響きに魅力的な曲だが、華やかで力強い動的な要素も挟まれ、聴き手の耳を十分に楽しませる作品に仕上がっている。

⑦ドニゼッティ 歌劇『ランメルモールのルチア』より “あたりは沈黙に閉ざされ”

ガエターノ・ドニゼッティは多くのオペラ作品を残している。1835 年に作曲された【ランメルモールのルチア】は「アンナ・ポレーナ」とともに「狂乱の場」をもつオペラの代表作の一つで、今日においても、しばしば上演される。

ルチアは兄から裕福な貴族アルトゥーロとの結婚を強要されるが、騎士エドガルドのことを忘れられない。様々な経緯を経た後、ルチアは狂乱しアルトゥーロ刺し殺してしまう。これが有名な「狂乱の場」である。このコンサートでの歌い始め“あたりは沈黙に閉ざされ”は、第一幕第二場で、ルチアが「うめき声がして亡霊が自分を招き寄せるように姿を消した」と、未来の悲劇を暗示するような不気味な物語を語る二短 6/8 のアリア。前奏の 6 度音程に導かれ、6 度音程ではじまる表情豊かな旋律をもつこの歌からはもの悲しい美しさを感じずるが、やがて転調を繰り返しはじめの旋律が二長調でも歌われる。そして曲はト長調 4/4 / モデラートとなり、ルチアはエドガルドに対する変わらぬ想いを込め情熱的に「彼は私の日常への光です。それは、私の苦しみへの慰めなのです。最

も激しい愛の快感に我を忘れるとき、心からの言葉で私に永遠の誓いをしてくれます。」と力強く歌う。そこにはもう憂いや不安はなく、彼女の心に存在するのは愛への確信のみである。このアリアには高度な声楽の技術を要する装飾的音型が多く挿入されており、最後に最高音3点二音のフェルマータを歌い輝かしく歌う。このアリアはこのオペラの中では、演奏会で単独に歌われる機会がもっとも多いアリアである。

⑧プロコフィエフ 『ロメオとジュリエット』からの10の小品 作品75 ～抜粋～

セルゲイ・プロコフィエフ(1891年-1953年)は、ロシアの作曲家、ピアニスト、指揮者であり、帝政期のロシア(ウクライナ東部)で生まれたが、1917年のロシア革命以後は、コスモリタンとして、米国、西欧で活動する。しかし、1936年に革命後のソ連に戻り、スターリン主義時代の芸術統制に悩まされながらも、ソ連で活動し、奇しくもスターリンと同じ日に、モスクワで没している。

彼は、交響曲、ピアノソナタ、バレエ音楽など多くの作品を残し20世紀の作曲家の中では、現代でも演奏される機会が多い作曲家である。

バレエ音楽『ロメオとジュリエット』は1935年に全曲を完成指せているが、革命後のソ連ではなかなか初演が出来ず、先行して管弦楽用第1組曲、第2組曲を発表している。その後、1938年12月30日にチェコスロヴァキアの国立ブルノ劇場でバレエが初演されている。

一方、今回演奏されるピアノ用編曲『ロメオとジュリエット』からの10の小品 作品75は、バレエの初演に先立つ1937年に、作曲者自身の手により編曲・初演されている。

組曲は以下の10曲で構成されている。

1. 民衆の踊り
2. 情景
3. メヌエット
4. 少女ジュリエット
5. 仮面
6. モンターギュー家とキャピュレット家
7. 僧ローレンス
8. マキューシオ
9. 百合の花を手にした娘たちの踊り
10. ロメオとジュリエットの別れ

全曲を演奏するには、30分以上の時間を必要とするが、今回は10曲の中から演奏者が任意の数曲を選んで演奏するが、上記のどの曲が選ばれて演奏されるかは、当日にならないと判らない。

従って、個々の曲の解説を今回は控えることにした。

⑨カプースチン 弦楽四重奏曲第1番より 1.4楽章

ニコライ・カプースチン(1937-2020)は、ウクライナ出身のロシアの作曲家、ピアニストである。彼はジャズにも興味を持ち、1950年代にはジャズ五重奏団を結成し演奏活動もしている。

彼の作風はその活動歴から推測されるようにジャズとクラシックを融合した独特の作風に特徴があるようだ。年代的には現代音楽に属する作曲家であるが、前衛的なものではなく、あくまで聴き手を意識した曲を書いているようである。

彼は長い闘病生活を送った後、2020年に没しているが、作品番号は161まであり、ピアノ作品を中心にかなり多くの作品を残しているが、弦楽四重奏は今回演奏される第1番(作品88)の他に第2番(作品132)も残している。

弦楽四重奏曲第1番は作品番号から類推すると20世紀末に書かれたものと思われる。今回は都合で1、4楽章のみを演奏する。

第1楽章:アレグロ 4/4 ヴィオラのレガート奏される二分音符の重音の下に、微かに聴える冒頭に休符が入る8分音符によるチェロのピッチカートではじまる。チェロで奏されるモチーフは

楽器や奏法を変えて度々姿を現し、やがてこの楽章を支配して行く。9小節目に第一ヴァイオリンが奏でる8分音符の三連音符によるモチーフbは、aについて重要である。bはらく発展を続けややゆったりした旋律セクションを経て、第一ヴァイオリンに弓奏でaが現れる。aが次第に変形され発展した後、16分音符による急速なセクションを通過し、再び旋律セクションを経た後、135小節目に二つのヴァイオリンのトレモロを背景に、ヴィオラがaを弓奏で奏で、次はピッチカートで奏す。また主役がbに移りしばらく続いた後、176小節目にaがジャズを想わせるリズムに変奏されて第一ヴァイオリンで出現する。しばらくしてbがまた現れ、最後はピッチカートをともなった弱奏に続き、全楽器のffのユニゾンで断ち切るようにaを奏し楽章を閉じる。

文章で書くと同じ事の繰り返しのようになってしまうが、実際は音型も奏法も次々と変化して行き、奏者には強い緊張感が伴うだろうし、聴き手は激しく変化する音楽と対面し聴き飽きることはないように思われる。今回演奏しない第2楽章ラルゲット、第3楽章アレグレットは省略し、最終学用の第4楽章に移る。

第4楽章:フーガ アニマート4/4では、始まりは典型的な伝統的フーガ様式を踏襲している。まず、チェロが10小節の長さをもつ主題を奏しそれは第二ヴァイオリン、ヴィオラ、そして第一ヴァイオリンで主題の提示を終えると、間奏を挟んで、主題を加工したモチーフが、4つの楽器のどれかに出現し、様々に変化して行く曲想の中で構成的統一感と緊張感を保っている。最後の部分で急速なテンポとなり、最後の締めくくりは、2つのヴァイオリンがオクターブでテーマの冒頭を奏した後、全4パートが参加する短いユニゾンで全曲を終える。

この楽章では、音楽大学などの学習で習得した作曲者の持つクラシック音楽の素養が発揮されていると云えよう。この作品を聴くだけでも、クラシックとジャズを融合した、カプースチンの作風の特徴を窺い知ることが出来ると思う。

また、これは筆者の感想だが、ウクライナ戦争が勃発してから2年以上になるが、まだ戦争が終わらず平和は実現していない。筆者は戦争が締結し、ウクライナの人々が平和と同時に自由を獲得することを切に願っているが、今のような時期にこの作品を演奏会で取り上げることは、音楽的意義だけでなく、社会的意義も強くあるように思う。戦争が終わり、敵味方に別れたしまっていた、ウクライナとロシアの音楽家が合同で音楽会が開けるような時の訪れを心待ちにしている。



特集 Fresh Concert -CMDJ 2024-出演者に訊く！

出演者に訊く！」シリーズは、第5回目の開催年2007年から開始されました。第1回～第4回までは座談会を開いてそれを記事にしておりましたが、座談会だと本人の都合で参加出来ない出演者画多かったため、第5回目からは幾つかの質問項目を用意し、その回答を『音楽の世界』に掲載するようにしました。しかし、2015年4月から『月刊：音楽の世界』が季刊に移行したため、2016年度からは、コンサートのプログラムが掲載されているこの演奏会用パンフレットに、出演者の略歴、楽曲解説と併せて掲載するようになり、今回はアンケート方式を採用してから、15回目となります。以下が、今年用意したアンケート項目です。

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

(※1: メッセージの後に、ご自身のサイト（ホームページ、ブログ）などをお持ちの方は、積極的にURL（アドレス）を紹介することを奨めます。

もちろん気が進まなければ、掲載しなくてもいいです。

(※2: 友情出演者の方々は、過去のアンケートに回答した経歴があるので、メッセージだけでアンケートに答える非必要はありません。

その代り、略歴を改めて掲載させていただきます。

【アンケート 2. ～7.】

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

7. その他（書きたいことをなんでも書いて下さい。書かなくともいいです）

1. はこのコンサートに寄せた各出演者のメッセージであり、毎回掲載していますが、さすがに、各自の演奏に対する意気込みが伝わる力がこもった文が多いようです。

2. ～3. は、過去にも何度か取り上げた質問項目です。それぞれの出演者の当面の研究目標が述べられています。

4. 戦争に巻き込まれている人々が多い現在の世界の状況に対して、比較的平和な我が国に住む若い音楽家が演どのように向き合っているかを知るため、今回初めて設定した質問項目です。出演者それぞれがどのように答えるか注目してください。

5. は10年後のあなたはどんな生活を送っていると思いますか？という質問ですが、ここでも浮

かれたところはなく、「出来れば 10 年後も音楽を中心とした生活を続けて行きたい。」という控えめな回答が多かったようです。「もっと夢があってもよいのでは」お感ずる方もいらっしゃるかもしれませんが、今の若者が現実の厳しさについて目をそらさず見つめているのかもしれませんが。

6. は好きな食べものについての質問ですが、この質問に関しては気楽に正直に答えたものが多く、とても興味深く感じました。

7. については、殆ど書き込みがありませんでしたが、1. ～6. につきましても答えは十人十色といったところだと思います。

それでは、以下に出演者全員の回答を掲載致しますので、個性豊かな個々の出演者の回答に目をお通しください。

①宮嶋 優有 (ソプラノ)

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

このような演奏会の機会をいただき、大変嬉しく思います。オペラ「ハムレット」は、かなりマイナーな作品ではありますが、フランスオペラらしい流麗な旋律が特徴の美しい作品です。

「狂乱の場」と呼ばれるこのアリアは、恋人であるハムレットに捨てられ、自分の父親を殺したことを知り、気が狂ってしまうオフィーリアが、死の直前に歌うものです。彼女の徐々に狂っていく哀れな様を、精一杯表現できるよう努めます。

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとって音楽とは、自己表現の手段であり、自分の人生をより豊かにしてくれるものです。

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

学部ではフランス音楽を中心に勉強してきましたが、特にグノーの「ロミオとジュリエット」は大好きな作品の一つです。

フランス留学を視野に入れているため、さらに取り組んでいきたいと考えています。

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

現代においても、戦争や紛争の影響を受けている音楽家の方々がいるというのは、非常に悲しい現実です。音楽を通じて平和や共生のメッセージを発信することは、私たちにできる貢献の一つでもあるのだと思います。

5. 10 年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？ (夢、希望でもいいです。)

演奏家として多くの舞台に立ってみたいです。

まだまだ挑戦したいことがたくさんあるので、これからも成長し続けられたら嬉しいです。

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物：天井、小籠包、パクチー。嫌いな食べ物：冷奴

②野原 章史 (ピアノ)

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

素晴らしい演奏家の皆様と共演させて頂けることを大変有難く思っております。普段なかなか聴くことのできない色々な分野の音楽から沢山のことを学ばせて頂きたいと思いません。英雄ポロネーズは常に転調を繰り返しながら曲が進行します。表情の移り変わりに注目をして頂けると大変嬉しいです。

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

時空を超えた共鳴

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

ショパンの最高傑作と評されるピアノ協奏曲第1番を演奏することが目標です。

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

演奏活動が自由に出来ないことは大変つらい日々だと思います。

自由に音楽活動が出来ることがどれほど有難いことか身に染みて感じます。

一日も早く世界中の争いが終わることを願い、終結後に音楽を通して交流する機会を持ちたいと思っています。

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

音楽に携わっている仕事に就いていることを望みます。

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物：寿司 嫌いな食べ物：茄子

③鯨 日和(ソプラノ)

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

この度はこのような演奏の機会をいただき、心から感謝申し上げます。

今回私が演奏させていただく曲は、2曲ともドイツ歌曲から選曲いたしました。

一曲目の、R. シュトラウス作曲“ばらの絆”は、後期ロマン派を思わせる濃密で色彩豊かな和声の特徴です。シュトラウスのオペラに“ばらの騎士”という作品があるのですが、そのオペラで描かれる音楽がこの曲にとっても似ていると思います。シュトラウスの音楽は転調が大変多いため、その音色の変化を掴み取り、歌詞の心情や情景を表現することに奮闘したとともに、そんなシュトラウスの音楽の魅力に心を奪われながら、今日まで勉強をして参りました。この曲で描かれている愛の喜びと幸福感を、皆様にお届けできるよう心を込めて歌いたいと思います。

二曲目の、リスト作曲“ローレイ”は、ライン川中流の岸にそびえる岩山にまつわるローレイの伝説を描いた曲です。そこは川の形が急カーブになっているため流れが速く、昔は船が流されてしまい、水没することが多かったそうです。そのことから、この岩山には美しい女性がいて、その歌声に舟人が誘惑されて水没してしまうという伝説が生まれたそうです。リストはそんな伝説を、見事に音楽に描き出しています。穏やかなライン川の情景、美しいローレイの歌声、そして船が水没する場面など、音楽によって物語がドラマティックに展開していきます。私はこの曲で初めて

リストの歌曲に取り組みました。歌曲ですが、オペラアリアに匹敵するほどの壮大で力強い一曲となっています。そんなリストの音楽をお楽しみいただけましたら幸いです。

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとって音楽は、自分という人間をより良くしてくれる存在です。特に歌曲は、実際に詩人が経験したことや、見た景色、感じた思いが描かれているため、私が知らない世界を見せてくれ、そしてそれを経験させてくれるような存在だと思っています。だからこそ、もっと色んな作品を知りたい、勉強したいという思いにつながっています。

また、人と感動を共有できるところも音楽の魅力であり、その瞬間が私の生きがいのようになっています。

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

私は、学部頃からドイツ歌曲を中心に取り組んできたので、大学院でも引き続きドイツ歌曲を研究したいと考えています。興味があり今後触れてみたい作品は、H. ヴォルフの《メーリケ歌曲集》や、G. マラーの《リュッケルト歌曲集》です。また新ウィーン学派の作品にも興味があり、A. シェーンベルクの《4つの歌曲》作品2や、A. ベルクの《7つの初期の歌》にもいつか触れてみたいです。

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

ニュースなどで戦争の状況が報道されているのを目にする度、心が痛むのと同時に、自分がいかに恵まれた環境で生きているのかを実感します。今自分が音楽を学んでいることも決して当たり前のことではないのだと、感謝の気持ちを忘れてはならないと思うばかりです。

今、戦争の被害に遭われている方に私が直接できることがあるのか…。自分の無力さを実感します。ただ、音楽は人の心にエネルギーを送ることができる一つの方法だと思うので、音楽を通して何かできることはあるのではないかと思います。

自分が生きている環境に日々感謝し、今後も音楽の勉強に精一杯励み続けると共に、一日も早く、この世界で起きている戦争が収束することを深く祈っています。

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

音楽を続けていきたいですし、私を経済的にも精神的にも支えてくれた家族に恩返しをしたいです。そばで応援してくれた周りの人に対しても同様です。また、地元である愛知県豊橋市でリサイタルをすることが大きな夢なので、叶えたいです。

慎ましくも演奏活動を続けている事を願っています。

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

お寿司が大好きです。人と回転寿司に行く瞬間が何よりのリフレッシュになります。あと、珈琲も大好きです。祖母からの遺伝で、お茶をしながらおしゃべりするのが大好きです。

嫌いな食べ物は、無いです！と言いたところなのですが、情けないことにいくつか頭に思い浮かびます（笑）。特に苦手なものがレバーです。貧血なので食べたほうが良いと頭では分かっているのですが…、心が距離を置いてしまっています。

④蝶名林 菜央(Cl.)／築山 由菜(Basset horn)／石川 ここね(Pf.)

〈クラリネットとバセットホルンとピアノの三重奏〉

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

今回は、初の試みでクラリネット、バセットクラリネット、ピアノの編成での演奏です。曲、楽器との向き合い方に真摯になり、試行錯誤して曲作りに励みました。私たちの作るメンデルスゾーンクラリネット二重奏曲をお楽しみください。(蝶名林)

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとっての音楽は、言葉と同じように自分を表現することができるツールのようなものです。私は、演奏には演奏する人の性格が表れると思っています。なので、音楽は人の内面を表すと考え、日頃から誠実に生きることを心がけています。(築山)

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

体の使い方について研究したいです。上手く表現をしたり音がよく伸びてストレスフリーに聴こえてくる演奏家は、皆自分の体を上手く使って演奏されていると思います。手の大きさ、身長、体重など一人一人違う中で同じ作品を弾く場合もあります。そこでそれぞれ自分の個性を理解してどう曲を解釈していくかは、非常に興味深いものだと思います。それに伴い、私も小さい身長で瞬発力やキレ味のあるスペインの曲や性別も体格も違うリストやラフマニノフの曲に挑戦してみたいです。(石川)

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

音楽は、人間が生きていく上で必要ないものです。平和であることが前提で、人々の生活をより豊かにするものです。戦争の国々がある中、音楽ができることに幸せを噛み締めながら演奏活動に励んでいます。全ての国に平和が訪れ、音楽がやりたくてもできない人々がいちにちでも早く音楽ができることを願っています。(蝶名林)

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

音楽だけとは言わず、幸せに生きていてほしいです。(築山)

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

基本好き嫌いはなく美味しく食べます。しかし高校3年生の時にバナナアレルギーになってしまいました。小さいころから大好きで定期的に食べていたのでとても残念です。(石川)

⑤恒吉 季実 (ソプラノ)

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

この度はこのような素敵な演奏会に出演させていただけますこと、心より感謝申し上げます。

歌劇《アンナ・ボレーナ》は、英国王ヘンリー8世の妃アン・ブーリン(アンナ・ボレーナ)の悲劇的史実を題材に、G. ドニゼッティによって作曲されたオペラ作品です。今回演奏するアンナの aria “あなたたち、泣いてるの？…私が生れたあのお城に連れて行って” では、王の寵愛を失い、不貞の濡れ衣を着せられ処刑を命じられた彼女が、死を目前にして錯乱し、過去の幸福な日々を幻想の中で回想する場面を歌います。

穏やかな故郷や、苦悩のなかったかつての恋人との思い出への憧憬を、G. ドニゼッティの描いた劇的で美しい旋律に乗せて、精一杯演奏したいと思います。

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとって音楽は、自身の成長を促すものです。特に歌においては、歌詞に寄り添う旋律によって、豊かな表情が生み出されます。楽譜を通じて感情を読み取り、それを表現する過程が、自身の内面を深め感受性を磨いていると思っています。また、自身では経験できない見知らぬ人の出来事や、情景を想像できることも、演奏家としての醍醐味だと感じています。音楽に向き合い演奏することは、より深い人間性の成長に繋がるのではないのでしょうか。

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

大学院では主にオペラ作品の演奏に取り組んできましたが、もともと歌曲にも関心があり、学部時代は歌曲を中心に演奏していました。今後もオペラはもちろんのこと、ドイツリートや日本歌曲などをはじめ、その他の様々な声楽作品に積極的に挑戦していきたいです。

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

世界には今も戦禍で音楽活動が制限されている音楽家がいることを思うと、自身が音楽に向き合える環境にあることに、改めて感謝の念を抱きます。この恵まれた状況において、音楽の持つ力を信じて精一杯演奏を続けることこそ、今の自分にできる最善のことだと考えています。また、こうした場で発信し続けることで、少しでも希望を届けられたらと願っています。

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

10年後も音楽と共に生き、今よりも深い表現ができる歌い手になっていると思います。どのような形で歌い続けられているかは分かりませんが、常に曲に対して真摯に向き合い、日々歌唱の精進を重ねていきたいです。

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物：ピザ、嫌いな食べ物：魚介類

⑥谷川 絢音(1st Vn.)／西山 京花(2nd Vn.)／山崎 健一郎(Viola) <弦楽三重奏>

1. 【メッセージ】 今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

今回演奏するドヴォルザークの弦楽三重奏は大学内のオーディションのために取り組んだ曲です。3人で試行錯誤し、たくさんの先生方にご指導いただいたことを経て3人にしか出せない音楽を表現できたらと思います。(山崎)心を込めて演奏したいです。合わせをしていく中で、さまざまな壁にぶつかっては解決できるようしてきました。コンサートを聞いてくださる方々に何か届けられるよう頑張ります。(西山)この度はこのような素晴らしい演奏会に出演させていただき大変嬉しく思います。今回演奏させていただくドヴォルザーク作曲テルツェット ハ長調 Op. 74 は、今回で2度目の演奏になります。初めての舞台は大学の学内オーディションにて選抜させていただき出演した時でした。オーディション期間は3人で音色やリズム感など、この曲の魅力的な部分を最大限聴いていただく方に伝わるような演奏をしたい、とたくさんの練習を重ねました。今回のコンサートでは、1. 2. 4 楽章を演奏させていただきます。ご来場くださった皆さまに曲の魅力はもちろん、私た

ちの強い絆を演奏から感じていただけたらと思います。(谷川)

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

人生そのものです。音楽がなければここまで成長することはできなかつたし、音楽に救われたこともたくさんあります。(山崎) 幸せなとき、辛いときどんな時もそばにいてくれる大切な存在です。(西山) 生活にいつも必要なものなのではないかと思えます。生活の中での喜怒哀楽においても、音楽が支えになっています。音楽は自分を表現させてくれます。(谷川)

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

クラシック音楽だけでなく、ジャズや現代音楽など、色々なジャンルの音楽に挑戦していきたいです。(山崎) ヤナーチェクやショスタコーヴィチといった比較的私たちと生きている時代の近い作曲家の作品に取り組み演奏の幅を広げてみたいです。(西山) 室内楽作品をたくさん勉強してみたいです。弦楽四重奏を組んでいるため、残り1年ですが、学生の間にはたくさんの室内学作品を勉強したいです。(谷川)

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

音楽をしたくてもできないことは、とても悲しむべきことだと思います。自分たちはやりたいことを自由にできる環境下にいるので、少しでも争いを減らすことができる音楽を奏でられるよう、日々精進したいと思います。(山崎) 戦争がなくなって私たち人間が笑顔で過ごすことができ、音楽を楽しむことができる平和な世界が訪れてほしいなと思います。(西山) やりたい音楽が好きにできないことはとても悲しいことだと思います。音楽できる環境に感謝し、演奏活動をしたいと思えますし、早く争い事がなくなり平和な世界がきますように。(谷川)

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？(夢、希望でもいいです。)

音楽に囲まれて生きていきたいです。色々な人と楽しく音楽を表現できてたらと思います(山崎) 音楽にひたむき向き合いながら、幸せに暮らしていきたいです。(西山) 音楽を続けていきたいです。自分の生活がどう変わろうと音楽が側にあれば嬉しいです。(谷川)

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物はプリンで、苦手な食べ物は特にありません。(山崎) 好きな食べ物はお餅です。苦手な食べ物はカリフラワーです。(西山) 好きな食べ物は、うどんです。苦手な食べ物はアボカドです。(谷川)

⑦鈴木 瑠花(ソプラノ)

1. 【メッセージ】今回のコンサートへの抱負、演奏する曲に対する想いをメッセージに込めて表現してください。

この度は、多くの尊敬する先輩方が演奏してきた歴史あるコンサートに出演させていただけることを大変有り難く光栄に思います。

G. ドニゼッティ作曲のオペラ《ランメルモールのルチア》は、17世紀のスコットランドを舞台に、敵対する家同士でありながら愛し合う二人の恋人の運命を描いた作品です。

今回演奏させていただくのは、第1幕で主人公ルチアが歌うアリアです。恋人のエドガルドと密会するために城内の泉のほとりで待つルチアは、「昔、ある男が嫉妬心から最愛の女性を刺して泉

に沈め、私はその女の亡霊を見た」と侍女に語り、自身もその運命を辿るのではないかと恐れます。それを聞いた侍女は、不吉な恋を諦めるように忠告しますが、ルチアは「エドガルドこそ私の人生の光！」と恋人への熱い思いを語り、曲調も悲劇を予兆するような始まりから多幸感溢れるものへと変化していきます。

ルチアが抱えている溢れんばかりの熱烈な思いを、私自身も全身全霊で感じられるよう、心を込めて演奏致します。

2. 音楽は、あなたにとって、いかなるものですか。

私にとって音楽は、時に悩みや苦しみを伴いますが、それ以上に何にも代え難い喜びや幸せをもたらし、心を満たしてくれます。人生に輝きや深みを与えてくれる心の栄養剤です。

3. 取り組んでみたい研究テーマ、挑戦してみたい、作曲家、作品は？

大学院の修了演奏ではG.ヴェルディ作曲オペラ《椿姫》のヴィオレッタを歌い演じました。いつか全幕で演じられるようになりたい憧れの役です。

その一方で、大学院ではシリアスな作品やキャラクターを中心に学んできたため、コミカルなキャラクターにも挑戦してみたいです。

4. 現代の時代でもまだ国が戦時下であり、音楽活動もままならぬ音楽家たちも存在します。

あなたはそういう人達について、どのように想い、何が出来るとお考えですか。

戦争によって音楽活動が制限されてしまうことにより、人々を癒し、希望を与えるものであるはずの音楽が奪われてしまうのはとても悲しいことです。私自身にできることは限られていますが、平和を願う気持ちを込めて音楽を届けることや、戦時下でも音楽を続けようとする人々の存在を少しでも知り、誰かに伝えて広めていくことが大切だと考えています。

5. 10年後のあなたは、どんな生活を送っていると思いますか？（夢、希望でもいいです。）

大学院を卒業して間もない今、知識も経験もまだまだ足りないと感じています。10年後にはより多くの経験を積み、技術的にも精神的にも深みを増しながら、歌い続けていたいと思います。そのためにこれからも精進して参ります。

6. 好きな食べ物と、嫌いな食べ物は？

好きな食べ物は沢山あるのですが、一人暮らしを始めてからは特に母の料理が心身ともに染みるようになりました。嫌いな食べ物はありません。

⑧ 恵藤 幸子（ピアノ） 【友情出演】（2007年度、2010年度出演者）

【メッセージ】

皆様こんにちは！再び fresh concert に出演させていただくことになりました、恵藤 幸子です。このような場でまた弾かせていただけることに、感謝いたします。

今回は、ロシアの作曲家、プロコフィエフのバレエ音楽「ロメオとジュリエット」より、何曲か抜粋して演奏させていただきます。この曲は、モスクワ音楽院のヴィルサラージェ先生よりおすすめいただき、イタリアのリサイタルで弾いた思い出の曲になります。1曲ごとにタイトルがついていますが、どのような場面なのか、登場人物の心情は？想像しながら聴いてみてください。もし気に入ったら、オーケストラがバックのバレエもぜひ観てみてください！

Blog: <https://ameblo.jp/sushikonosushi/entry-12695722292.html>

Home page: <http://sachiko-sato.com/>

⑨粟津 惇(ヴァイオリン) 【友情出演】(2012 年度出演者)

粟津惇(1st. Vn)/青山英里香(2nd. Vn)/中村響子(Va)/中西 哲人(Vc) <弦楽四重奏>

【メッセージ】

粟津 惇(第1 ヴァイオリン)

CMDJ への12年ぶりの出演が感慨深く、心踊っております。それを表すようなカプースチンの響きとともに、4人での今をお届けしたいなと思います。

青山 英里香(第2 ヴァイオリン)

クラシカルな響きの中にジャズのリズムが踊り出す、ロマンチックな1楽章、そしてとにかく楽しい4楽章！カプースチンの世界をお楽しみいただけるよう、心を込めて演奏いたします！

中村 響子(ヴィオラ)

けだるい空気の中から躍動し始める音符たち…
お洒落でエネルギー溢れるカプースチンの世界をお楽しみください

中西 哲人(チェロ)

音の魔術師カプースチン。
魔法の様な和性とリズムをお楽しみください！



日本音楽舞踊会議 (The Conference of Music and Dance, Japan 〈CMDJ〉) からのお知らせ

◆会員へのお誘い

本会は一つの専門だけではなく、声楽、器楽、作曲、研究、評論、教育、軽音楽、舞踊、などさまざまなジャンルの専門家で構成される団体です。機関誌として、この「音楽の世界」を発行し、演奏会、ゼミナール、研究会などを開催するほか、会報、メールマガジン、ホームページの発行や、会員同士の交流、情報交換などもあり、さまざまなジャンルの人との交流が出来るのはこの団体の特徴です。

正会員の会費は年額 22,000 円、**準会員**の会費は年額 15,000 円です。他に 30 歳未満の方を対象とした**青年会員 (年額 11,000 円)** という特典制度があります。青年会員は役員の被選挙権を有さない以外は、正会員と同等の権利を有します。

◆賛助会員へのおさそい

本会の活動に協賛し、ご支援下さる方々を対象とした制度です。所定の年会費を納めて頂くほか、どのような資格制限も無く拘束もありません。どなたでもお申し込み頂けます。本誌「音楽の世界」を毎号お送りする他、本会が主催する演奏会などの事業に会員同様無料または会員割引料金で入場できます。

年会費は 1 口 10,000 円で、1 口以上からお申し込みになれます。

◆会友制度について

会友には研究員と維持会友があります。

・研究員は本会を足場に、研究、音楽活動をして行く方々のための制度で、本会において研究員としての活動を認められた方々は、会の主催行事（コンサート、研究会など）について、会員に準ずる条件で参加する権利を有します。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、本会機関誌「季刊；音楽の世界」を毎号お送り致します。

・維持会友は本誌や本会の活動に関心をお持ちの方は申し込みいただければ、どなたでも資格を得ることが出来ます。協力費として年額 5000 円の会友費が義務つけられますが、「季刊：音楽の世界」を毎号お送り致します。

★機関誌『季刊：音楽の世界』定期購読について

『季刊：音楽の世界』は、年 4 回発刊されておりますが、年間購読費 3,200 円で、定期購読が出来ます。定期購読者には毎号郵送で、『音楽の世界』をお送りします。

以上の記載事項について、詳しくは本会事務所（電話 03-3369-7496）へお問い合わせください。

日本音楽舞踊会議 (TEL/Fax03-3369-7496) ・

e-mail: info@cmdj1962.net